

2. 労働基準局

労働基準局では、労働条件政策課賃金時間室、勤労者生活課、労災補償部労災管理課労災保険財政数理室において、数理職員が活躍しています。全国の労働者が安心して働き、豊かな生活を送ることができる社会を構築するために、労働基準行政における数理的業務の中核を担っています。

労働基準局若手数理職員の紹介



宮崎雄介（平成18年入省）

賃金時間室 最低賃金係長



労働者の賃金の最低水準を規定する「**最低賃金制度**」について、毎年の金額改定に関わる業務の担当をしています。

最低賃金は公労使が参加する審議会で決められますが、審議が円滑に行われるように、賃金動向や経済情勢に関する資料を作成し労使に説明するなど、労使の意見の調整を行っています。

宮崎一彦（平成20年入省）

勤労者生活課 数理係長



中小企業の事業主が掛金を拠出し、従業員の退職時に退職金を支払う「**中小企業退職金共済制度**」の企画運営を担当しています。

共済数理、財政分析や資産運用といった数理的な能力が必要な業務を行うとともに、中小企業退職金共済法や労働金庫法など勤労者の生活に関わる各種法令の改正にも携わっています。

伊藤匡人（平成21年入省）

労災保険財政数理室 料率係



業務上又は通勤上で災害を被った労働者や遺族の方々に対して保険給付を行う「**労災保険制度**」の財政数理を担当しています。

事業主が納める労災保険料の基礎となる保険率の設定を行うとともに、労災保険の長期的安定性を保つための検討や制度改正が労災財政へ与える影響の推計などを行っています。

数学の専門的知識は 行政において必要か不要か



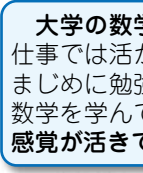
数学力は数理職員の
命。数学の専門性は
高めた方が良い。

数学を学んできたこ
とが重要。専門性は
そこまで必要ない。

BATTLE START!



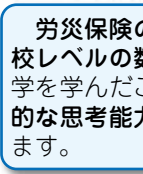
私が携わっている中小企業退職金共済制度では、**保険数理の知識**が必須です。制度設計で、複雑な計算を行う際には、学生時代に確率論を勉強したことも活かしています。



大学の数学は専門的すぎて、我々の仕事では活かせないです。私は大学でまじめに勉強した方ではないですが、数学を学んで得た**数字や計算に対する感覚**が活かしています。



数学を学んでいれば誰でも良いわけではなく、一定の専門性が必要です。たとえば施策の効果を統計調査から見出すのに**時系列分析**などの知識が必要でしょう。



労災保険の料率算定に使うのは、**高校レベルの数学**です。ただ、大学で数学を学んだことによって得られた**論理的な思考能力**は役に立っていると思います。

JUDGEMENT!



数理職員といっても、活躍の場は幅広く、様々な部局で業務を行っています。保険数理の専門的な業務を行うところもあれば、法令知識を基に法律改正に携わるところもあります。

しかし、**すべてに共通して求められるのは、何ごとにも根気よく取り組む姿勢**であり、そういった意味では大学時代に数学の専門性を深く追究したという経験は大きな力になるでしょう。

数理職員が配属されている労働基準局の三つの課室では、管理職を除くと数理職員はそれぞれ一人だけであり、配属されたその日からその課室の数理に関わる業務を一人で担っています。そんな中で「数理職員はいかにあるべきか」を日々考えながら仕事に励む若手職員に**数理職員に求められるもの**をテーマに**ディベート**してもらいました。

法律・経済の勉強を 学生時代にしておくべきか否か



学生時代から法律や経済の知識を身につけた方が良い。



学生時代から意識して数学以外を学ぶ必要はない。

BATTLE START!



最低賃金の議論では、**労働基準法**のことが頻繁に出てきてとても苦劳しました。労働法の基礎などを学生時代に勉強していればもう少しうまくやれたかもしれません。

あえて学生時代に勉強しなくても、同僚に**法律や経済の専門知識**をもった職員がいるので、仕事をしながら覚えていけば、効率良く必要な知識が身につくと思います。



数理職員も行政職員です。数学さえ出来れば良いという考え方はどうでしょうか。**未知の問題への対応には様々な知識が必要**ですし、法律や経済は勉強しておくべきです。

私も中小企業退職金共済法の改正では苦劳しました。ただ、時間は掛かっても、**頑張っ**てその場その場で勉強していけば、法律など必要な知識を身につけることは可能です。



JUDGEMENT!



もちろん、法律や経済の知識は学生時代からあるに越したことはないですが、仕事上で必要が生じたときに勉強しなければならないことは多いので、**必ずしも事前に必要ではない**かもしれません。

何よりも大切なことは、**社会人になってから、数学以外の分野も積極的に勉強し、自らを高めていく**向上心でしょう。厚生労働行政は幅広く、日々勉強ですが、その分、やりがいもあります。

数理職員に求められるのは 精緻な説明か分かりやすい説明か



間違った理解をされないために、**精緻な説明**が重要である。



一般の人にも分かるように説明をすることが大切である。

BATTLE START!



私が携わっている**労災保険率の改定**には、**精緻な数理計算**が欠かせません。前提により結果が大きく変わるので、それに応じた**的確で詳細な説明**が求められます。

経済情勢や調査結果を労使に説明する際は、**相手に分かってもらうことが最も重要**で、**簡潔な説明**が要求されます。難解な説明では最低賃金額改定の審議ができません。



しかし、説明が難しいからといって、**詳細を省くと誤った情報**となることもあります。難しい内容でも、**正確に粘り強く相手に説明し、理解**してもらうことが大切です。

労使関係者は多忙ですし、**長々と説明する時間的余裕がない**こともあります。内容の正確さも大切ですが、**ポイントを見極め、分かりやすく説明**することが重要です。



JUDGEMENT!



説明は相手に理解してもらうことが目的なので、たとえば大臣には要点を、専門知識のある人には詳細を説明するなど、**相手の立場に立って臨機応変に対応**できることが必要です。

具体的には、制度改正を進める際に、検討段階では詳細な内容の資料で議論し、その後、多忙な幹部には概要が分かるビジュアルな資料で要点を説明するなど**の使い分けが必要**でしょう。